

HTLV-1感染対策事業実施状況

医療政策室
児童家庭課

岩手県におけるHTLV-1感染対策について

現状と取組み

(1) 当県のHTLV-1陽性者の状況

- ア 全県における陽性者の把握方法としては、妊婦健康診査、献血における数値を参考。
妊婦健康診査における陽性者は平成21年度26名(0.30%)、22年度25名(0.25%)となっており、献血者においては(初回献血者)は、平成21～23年度の年間平均者数は、12名となっていた。
- イ 平成元年度「岩手県におけるHTLV-1の母子感染調査について」(参照:参考資料2)の研究結果、妊婦1,602名中31(1.9%)の陽性が確認されている。
- ウ 三陸の太平洋沿岸地域は、陽性者が多い地区となっている。

(2) 妊婦健康診査におけるHTLV-1抗体検査実施状況(平成21年度～)

当県では、県産婦人科医会のご協力のもと、全国でも先駆けて平成21年度より全市町村で実施。

(3) 岩手県HTLV-1感染対策協議会設置(平成23年度～)

設置:平成24年3月21日

主な協議内容:キャリア等への医療体制、相談体制の構築、事業実施計画等

(4) HTLV-1感染予防対策医療従事者等研修会(平成24年度～)

対象:医師、保健所、助産師、看護師等

- ◆第1回:平成24年9月22日(土) 内容:講演(基礎編、上級編)HTLV-1の基礎知識等
- ◆第2回:平成25年9月21日(土)予定 内容:報告及び講演(疾患別編)「HAMの基礎知識等」

(5) 医療・相談支援体制の構築(あるべき姿)

岩手医科大学附属病院(血液・腫瘍内科)キャリア外来、盛岡赤十字・県立病院キャリア外来、がん相談支援センター、難病連、市町村、保健所等)

(6) 保健所における抗体検査について

(※24年度実施は見送り)

(7) 普及啓発

保健・医療従事者への啓発を優先に取組み(研修会の開催、会議等での周知)

妊婦健康診査におけるHTLV-1抗体検査の実施状況②

○HTLV-1抗体検査の実施状況調査について

平成23年度、県産婦人科医会のご協力のもと、県内34産科医療機関へアンケート調査実施。

＜調査内容＞陽性者及び判定不能者の人数・住所地・栄養方法の選択

	平成21年度	平成22年度
健診初回受診者(人)	8,758	10,121
陽性者数 (人)	26	25
陽性率 (%)	0.3	0.25

(※平成23、24年度においては調査未実施。今年度、調査検討。)



<参 考>

○調査研究(平成元年度)

「岩手県におけるHTLV-1の母子感染」(研究者:伊藤忠一 岩手県成人T細胞専門委員会)

(平成元年度厚生省成人T細胞白血病(ATL)の母子感染防止に関する研究)

研究方法: **沿岸地区 4関係病院に来院した妊婦1,062名に対し、抗HTLV-1抗体検査実施**

(主治医の説明及びアンケートにより同意を得られた妊婦)

抗体検査: PA法とEIA法でスクリーニング検査実施、両法とも陽性の場合を「陽性」と診断。

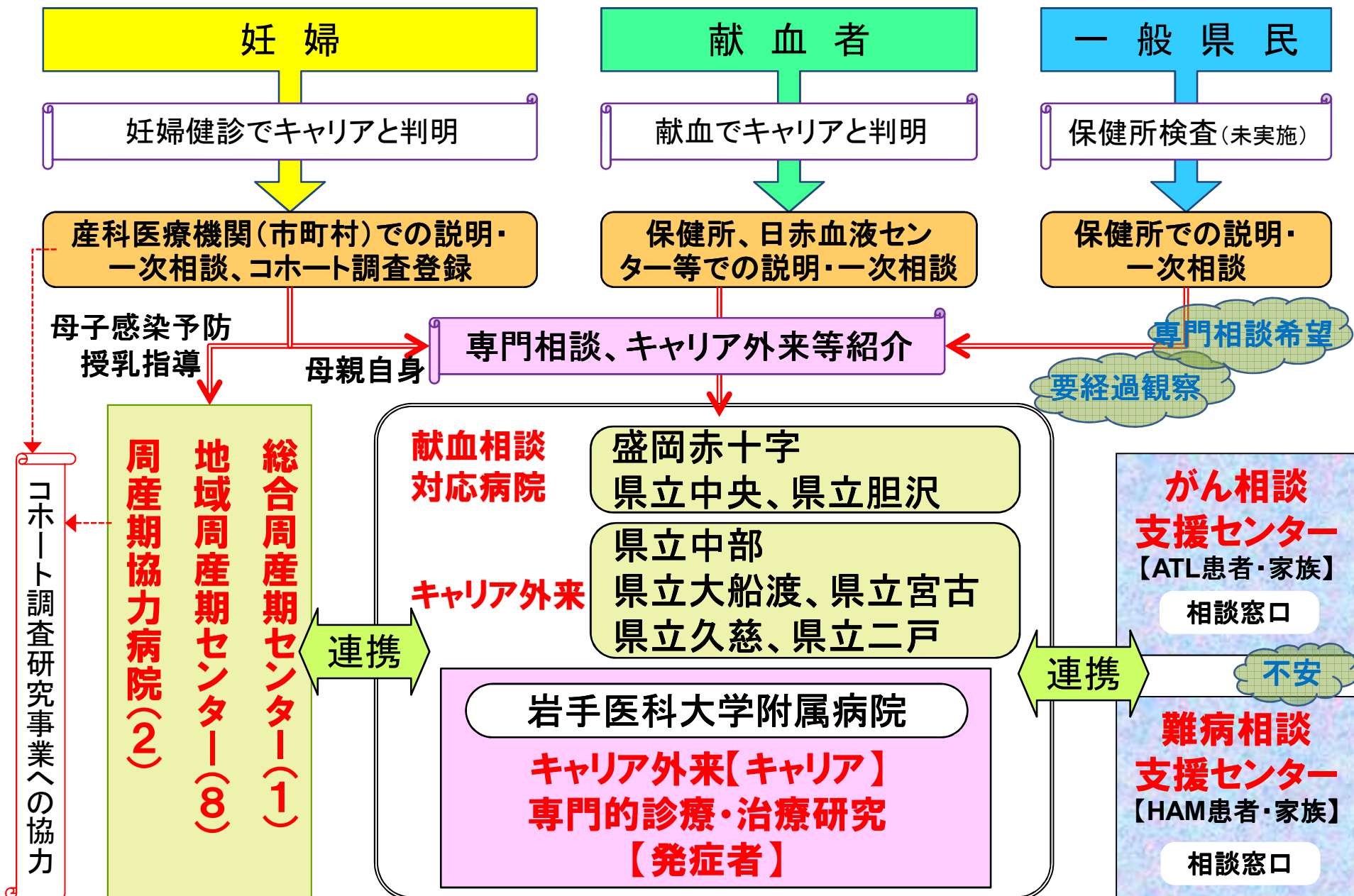
両法不一致の場合は、West-ern blot法にて確認。

結 果: **31症例(1.9%)の陽性**

HTLV-1感染予防対策医療従事者研修会開催状況

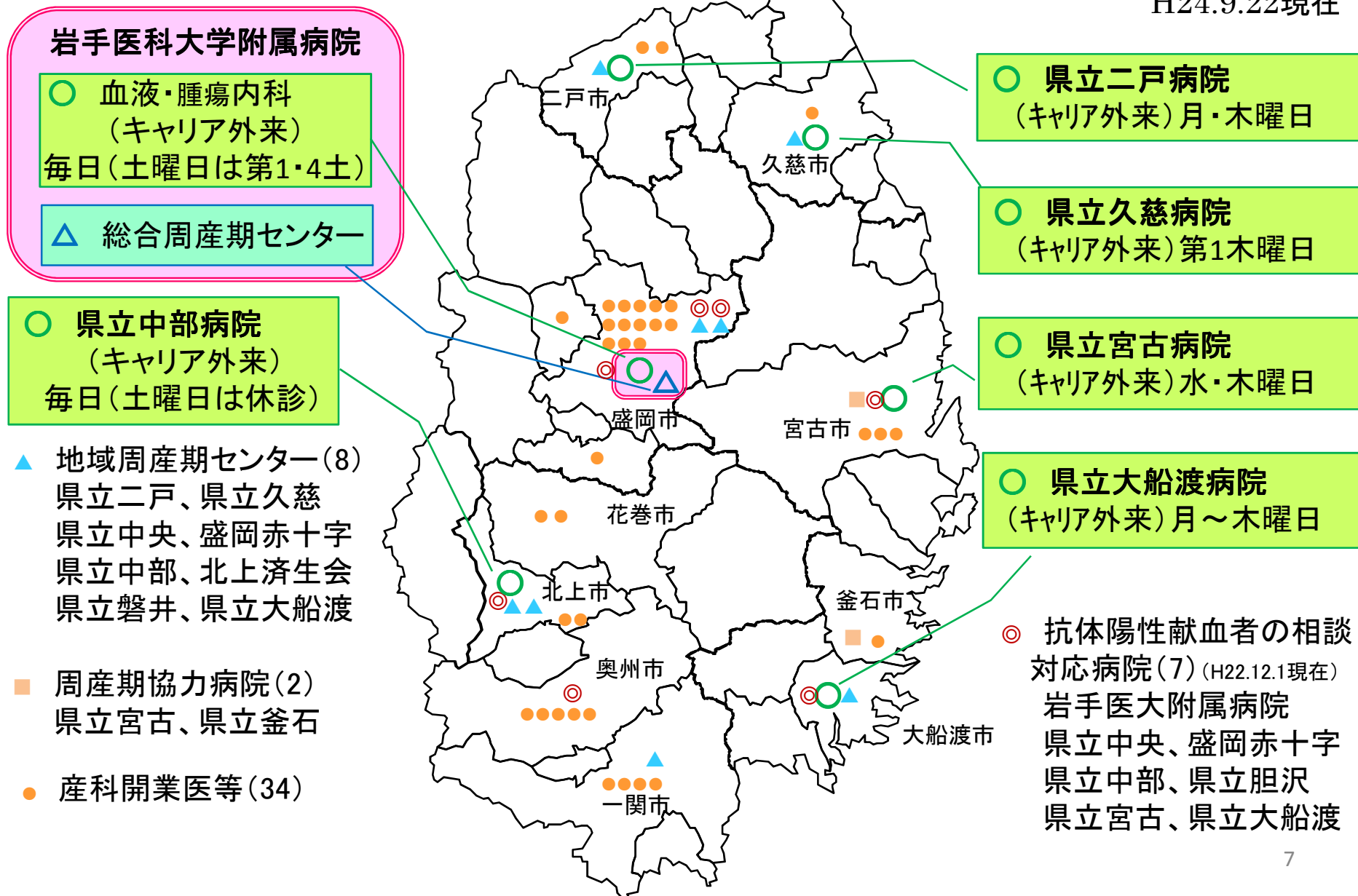
- 目的: HTLV-1感染予防に携わる医療従事者が、岩手県における課題と対策の方向性を情報共有し、自ら取り組むべき役割を認識することにより、感染予防対策やキャリアへの相談支援体制の充実を図る。
- 主催: 岩手県
- 後援: 岩手県医師会、岩手医科大学附属病院
- 日程等: 平成24年9月22日(土)13:00~17:00
- 対象者: 医療従事者
- 参加者数: 87名(医師28名、助産師20名、看護師8名、保健師7名、その他4名)
- 内容等: **【基礎編①】**
「HTLV-1に関する基礎知識」
講師: 岩手医科大学内科学講座血液・腫瘍内科分野 准教授 伊藤 薫樹 先生
【基礎編②】
「母子感染予防対策について」
講師: 岩手医科大学 小児科学講座 教授 千田 勝一 先生
【上級編】
「HTLV-1キャリアに対する医療・相談連携体制の構築に向けて」
講師: 東京大学医科学研究所附属病院 血液腫瘍内科
准教授 内丸 薫 先生

HTLV-1キャリア等への医療・相談支援体制（目指す姿）



HTLV-1キャリアに関わる医療機関の分布図

H24.9.22現在



保健所におけるHTLV-1抗体検査の実施について

○特定感染症検査事業

・平成23年度から、特定感染症検査事業において、HTLV-1抗体検査を国庫補助の対象項目として追加した。

◆性感染症(性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染性、尖圭コンジローマ梅毒、淋病感染症の5疾患)に関する検査及び相談事業

◆**HTLV-1に関する検査及び相談事業**

◆HIV抗体検査及び後天性免疫不全症候群に関する相談事業

◆HBs抗体検査、HCV抗体検査及び肝炎ウイルスに関する相談事業

<平成22年度まで>

性感染症
HIV
肝炎ウイルス



<平成23年度～>

性感染症
HTLV-1
HIV
肝炎ウイルス

・今年度、保健所の抗体検査実施は見送り。

相談受理状況①

〇24年度実績

1 市町村・保健所

(1) 相談件数(平成25年8月:県内各市町村母子保健担当課および各保健所へアンケート調査実施)

	相談件数(実/延)	再掲(ATL, MAM)
市町村(33ヶ所)	1 / 2	(ATL 0件、HAM 0件)
保健所(9ヶ所)	1 / 1	(ATL 0件、HAM 0件)

(2) 相談手段

電話

(3) 相談対応者(職種)

保健師

(4) 主な相談内容

- ・キャリア(本人)について(日常生活、家族への告知等)
- ・母子感染に関すること
- ・配偶者や交際相手、両親、兄弟への感染の心配
- ・どこに相談したら良いか分からない
- ・抗体検査について
- ・専門医療機関について

(5) 支援の困難点等

- ・本人に対し、医療機関で確認検査を実施しているのか、本人への告知がどのようにされているのか分からない状況での相談であり、対応が難しい。
- ・主治医への連絡を行った。(医療機関への連絡等判断に困る。)

(6) 今後の相談体制の要望等(自由記載)

- ・医療機関から専門相談窓口を紹介して欲しい。
- ・妊婦さんの時から小児科医等への情報提供についても同意が得られるようにしておく連携・支援が強化されると思う。
- ・妊婦一般健康診査受診後に産婦人科医から説明されて、その後、相談できるところが、ご本人に伝えられると困らないと思うので、リーフレット等が渡されると良いと思う。(既にそのようになっているのか把握できていないので)
- ・どのような支援体制を整えたら良いか分からないので、担当者向け研修会等の機会があれば参加したい。(4市町回答)

(7) 岩手県周産期医療情報システム“いーはとーぶ”による支援状況

- ・岩手県周産期医療情報ネットワークいーはとーぶの連携情報の項目を利用して、事業担当保健師が産科医・小児科医・助産師等と情報を共有し、支援している。現在のところ、母子感染症事例での事例はないが、有効なツールとして活用できると考えている。(1市回答)

相談受理状況②

2 岩手県難病相談・支援センター

- ◆厚生労働省で、各都道府県の難病相談・支援センター(HAM)へのアンケートを取りまとめ。
(平成24年5月14日時点、過去1年間)

相談件数: 岩手県 6件(全国 78件)

主な相談内容: 日常生活の注意点、疾患、受診医療機関、医師とのコミュニケーション等

- ◆患者会

アトムの子岩手支部(設立:平成15年12月20日)

会員数 4名

(※平成25年1月 NPO法人「スマイルリボン」へ名称変更(全国)。

HAM患者会、ATL患者会、キャリアママの会統合)



県内相談窓口

○厚生労働省ホームページ

「HTLV-1(ヒトT細胞白血病ウイルス1型)に関する情報HTLV-1」

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou29/>

＜相談・医療機関検索＞



○がん相談支援センター

(岩手医科大学附属病院、県立病院8ヶ所)

○難病相談支援センター

○盛岡市保健所、県内9保健所

(参考)岩手県赤十字血液センター

○献血者のうち、希望者に対して、検査サービスの他に異常を認めた場合に、下記項目についても通知。



- ・B型肝炎 ・C型肝炎 ・梅毒検査 ・**HTLV-1抗体検査**
- 通知内容)・今後の献血はご遠慮いただくこと。
- ・保健所又は医療機関へ相談のこと。

○「HTLV-1」については、疑問や不安解消のためパンフレットを献血者全員に配布。

(「JSPFAD- HTLV-1感染者コホート共同研究班」作成)

○献血者のHTLV-1抗体陽性率

◆初回献血者

	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
献血者数	5,361	5,786	4,566	(集計中)
陽性者数(%)	13(0.24)	11(0.19)	12(0.26)	(集計中)

◆献血者(延数)

	H21年度	H22年度	H23年度 ¹	H24年度
献血者数	57,465	54,559	51,927	53,623
陽性者数(%)	34(0.06)	35(0.06)	20(0.04)	35(0.07)

INFORMATION

ヒトT細胞白血病ウイルス-1型

HTLV-1の知識

この度は献血にご協力いただきありがとうございます。

日本赤十字社では、献血された血液をより安全に患者さんにお届けするために、厳しい血液検査を行っております。

また、献血者の皆様のうち、希望された方に対して、検査サービスの通知の他に、B型肝炎検査・C型肝炎検査・梅毒検査及びHTLV-1抗体検査に異常を認められた場合に、通知をさせていただきます。

上記検査項目のうち「HTLV-1」について、皆様の疑問や不安を少しでも解消いただくためにこのパンフレットを作成しました。

検査サービスでお知らせする検査項目(希望者のみ)^{*1}

●血液型 ●生化学検査(7項目) ●血球計数検査(8項目)

*1: 献血者の約9割は希望者以外で検査項目が決定しております。

検査で異常を認めた場合にお知らせする検査項目(希望者のみ)^{*2}

●B型肝炎検査 ●C型肝炎検査 ●梅毒検査 ●HTLV-1抗体検査

*2: 献血者の約1割は、検査サービスを選択し検査項目が決定しております。

HTLV-1抗体検査について

HTLV-1に感染すると体内では、ウイルスに対する抗体が作られます。

HTLV-1抗体検査は、その抗体があるかどうかの検査を行います。

検査法には様々な種類があり、それぞれの長所と短所があるために2種を組み合わせて判定しております。

日本赤十字社ではCLEIA法(化学発光酵素免疫測定法)及びWB法(ウエスタンブロット法)により判定しております。そのため、通知できるまでに日数がかかります。

(「JSPFAD- HTLV-1感染者コホート共同研究班」作成)